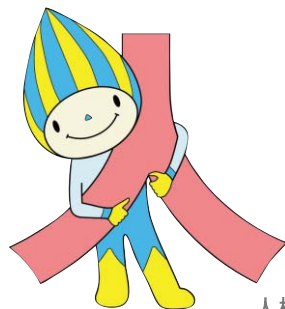


ちよつと
いい話



平成30年度

人権ミナモ

日々の生活の中で、ほんの少し相手のことを思っただけだ」「言葉」や「行動」に、まわりの空気が温かくなったり、経験はありませんか。また、あなたがいらなかったとき、苦しなかったときにかけられた「言葉」「行動」が励ましになった経験はありませんか。

「このおひな身のまわりで経験した心温まる出来事を」ちよっぴこと話として、平成30年5月17日から9月12日まで募集したという、小学校17校、中学校8校、高等学校3校で取り組みいただき、一般の方からの応募も含め、179作品を寄せていただきました。そこで、

- ・正直、誠実、責任、勇気
- ・友情、信頼、献身
- ・克己、忍耐、努力
- ・思いやり、絆
- ・尊敬、感謝
- ・家族愛
- ・命の尊重

と書いた思いが込められています。

その中から、80作品を紹介させていただきます。

人を思いやる心や人と人とのつながりを感じていただき、県民一人ひとりが共に育ちあふ生活の力を高めようという機会をぜひ活用してください。

【おへんじ】

「小学生」

いもつこのえがお	1
かわいなおつと	2
おへんのおおまはちさん	3
マッサージせん	4
ほしてちよう	5
ちよつといはなし	6
コーチがあしてくれだよ	7
お母 ^{かあ} さんのせなか	8
わたしのおつと	9
わたしのいもつと	10
こねこののち	11
おへんのおへん	12

ごめんねのパワー

…
…
23

おてっだいのてんさい

…
…
24

すずめのなかま

…
…
25

ちっちゃい子の素敵な姿

…
…
26

ばあちゃんとかさ

…
…
27

妹のおむつがえを地いきのおばちゃんが手つだってくれた

…
…
28

せきのゆずり合い

…
…
29

え顔はいつまでも

…
…
30

おねえちゃんのランドセル

…
…
31

見習いたいなく

…
…
32

使った物には、必ず「お礼」を

…
…
33

私達の通学路には

…
…
34

動物園の帰り道

…
…
35

あいらしの輪

…
…
36

おばあちゃんのままほづの言葉

…
…
37

こんにちは !!

…
…
28

ぼくの家いえに双子ふたごがやってきました

…
…
29

ほんの一言いちごんごで

…
…
30

やさしい駅員えきいんさん

…
…
31

交差点こうさつてんのでき事こと

…
…
32

手紙てがみ

…
…
33

本ほんだなはいつもきれい

…
…
34

妹いもうとの温ぬるかいぞきつね

…
…
35

「お茶ちや屋やじいかなあ。」

…
…
36

エレベーターで

…
…
37

やさしむふむみじ

…
…
38

家族かぞへのようなが近所きんじよさん

…
…
39

最高さいこうの仲間なかまに囲かこまれて

…
…
40

修学旅行しゆがくりょの楽しさたのをおすそわけ

…
…
41

仲なかなありの方法ほうほう

…
…
42

電車でんしゃの中なかでの出来事できごと

・
・
43

おばあちゃんおばあちゃんの思い出おもいで

・
・
44

「中学生」

あたたかい心こころ

・
・
45

魔法まほうの言葉ことば「ありがとう」

・
・
46

おばあちゃん

・
・
47

元気げんきが一番いちばん

・
・
48

自転車じてんしゃで登校とうがうしている時とき

・
・
49

家族かぞくの協力きょうりきプレー

・
・
50

勇気ゆうきを出してだして

・
・
51

ごみ集めごみしゅうめ

・
・
52

男おとこの子ことチヨコレート

・
・
53

ごみ収集車ごみしゅうしゅうしゃとぬいぐるみ

・
・
54

母ははからのあじがとう

・
・
55

自慢の祖母

・
・
69

社会の常識を考えることの大切さ

・
・
70

素敵なキャストさん

・
・
71

大切な仲間と

・
・
72

電車の中で小さな喜び

・
・
73

疲れを無くしてくれる優しさ

・
・
74

駅員さんの優しさ

・
・
75

子猫と女の子

・
・
76

【一般】

お弁当箱

・
・
77

子供の何気ない一言に感謝

・
・
78

流しそうめん

・
・
79

ありがとう

・
・
80

こまじいのえがお

ほくは、かわいいこまじいがいます。

いもじいのなまえは、Aちゃんといこます。

ほくは、Aちゃんのえがおとわらわら

えがだいすきです。

Aちゃんは、いつわらわらかな。なにがす

きなのかな。ほくはいつもかんさつしてい

ます。

Aちゃんがわらわらほくへおしなつて

かぞくみんな、えがおになります。Aちゃん

ながなくと、しんぱ

いになります。かぞ

くみんなが、えがお

ひがひかひかひか。



ぼくのお母ちゃん

ぼくのお母ちゃんは90才です。

まえはみんなでゆづりはんをたべていたけど、いまはあじがわるくなって、2かいのキッチンにあげてくれなくなってしまったので、じぶんのいそいでたべている。

あじやべしするいそがなくなってしまったのでおみづです。

だから、がしゅういんいそきはかならず「ごしきまます」や「なるいそい」おやすみなさん」を「ごしきま。

ごしきまますきんごしきまます。



ダンスサークル

ぼくのおとうさんとおかあさんは、おしごとをしたじ、じいちゃんをいったり、おそ
うじをしたじ、まごちがとびいっす。
ぼくはおじいちゃん、おばあちゃん、ダンスサークル
やさんになって、おとうさんとおかあさん
のせなかをおしてあげます。

するど、しかねがとれてきもちがいいと
ちいさなわがまま。

そわい、ぼくもいっすきもちなこま
す。



ぼしてちよつ

わたしがよぼつせししゅをすぬじきせ、
はがぬけたとき、おかあさんは、わたしの
ぼしてちよつを見つかきいんげいします。

「じいじかへのおみやいだろ」「これは
大せつなきろくだからだよ。」といいま
した。ぼしてちよつには、わたしがおなか
の中にいたときからのことがたくさんか
いてありました。

おかあさんが「すごく大せつなだからも
のなの。」と、わたしをギュッとだきしめ
ながらいました。うれ
しくてあたたかいきもち
になりました。



小学生命

ちよっついほなし

おかあさんとプラレガーストアへかいもの
のドコにたじきのじぶち。

かいものがあわって、おみせをでてある
いていたら、おかあさんがたせつていた
ブルールのレジぶんのせいがざぶざぶと、
なかのものがぜんぶあちこしまいました。

ほんもおかあさんとびつていっていま
ついたら、ちかへきをとったひがひがひ
ひのドコにさへたへたひつとせせせ
つてたすけてくれました。

おじいじいれしかったです。



「コーチがおしえてくれたよ

わたしは、バレーボールしようねんだん
にはいっています。

れんじゅうのとき、コーチから「タイ
のスリッパをそろえてきたよ。みんなそろえ
てるか。」といわれ、それからスリッパを
そろえています。

ぼろぼろが「ごしもスリッパをそろえてい
Wさんあげが、「ごもまは「タイしきれ
いだから、えのついたタイレットスパー
かってきたよ」と、ふたりはめ
られ、うれしかったです。
これから、スリッパをそろえ
てみんなをいっています。



お母さんのせなか

ぼくは、お母さんがリビングですわるといつもかたをもみもみます。するとお母さんは、「あー、そんの手はジャストフィットだねえ」と言っています。

かたをもんだりたたいたりする手は、大きすぎても、小さいすぎてもダメだそうです。お母さんは、いつも気もちよくおんこでぼくはじわじわしています。

今日もお母さんのところまで立ちます。

ぼくの手は、いつまでジャストフィットなのかなあ。



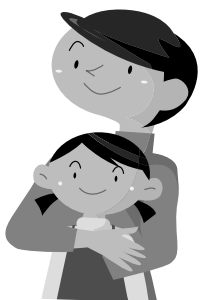
わたしのおじい

わたしは、ふたじのいもうとがいます。
でもほんとうは、おじいともいます。おか
あさんのおなかで、とろくへんりつしてま
いました。

あるとき、おかあさんが、「うちは、お
んなのこばかりだね」といいました。
でも、いもうとが、「なんで？ おじいと
もいるじゃな。」とこまました。

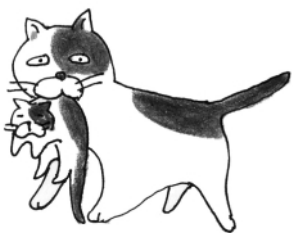
おかあさんは、「そうだね。おぼえとい
てくれて、めいがかうい。
とこまました。

わたしも、こころが
あたたかくなりました。



いねいのこのち

きんじよでのらねこが、子ねこをうみま
 した。小さなこえで「ミ〜ミ〜ミ〜ミ〜ミ〜」
 とないていました。5ひきの子ねこがうま
 れていました。しほりへんして、子ねこたち
 が歩いてくるのを見ました。ねこたちは、
 いつも、ははねこのそばを歩いていました。
 ある時、一ひきの子ねこが、車にひかれ
 てしまいました。おかあさんねこは、いつ
 までもいつまでも、子ねこをじっと見
 ました。
 わたしはそれを見て、『い
 うぶじにも あいじようが
 あるんだな』と思いました。



小学生命

ぼくはもうまじゅう

6月がつに、いもうとが生まうれた。とても小
さくてかわいい。まわりの人ひとをえがおにさ
せてくれる。だげげ、すずいいきあいでな
くくもあある。

いえのことをしながら赤あかちゃんのせわ
をしているおかあさんは、とてもたいへん
そうだ。ぼくは、まだ小ちいさいいもうとうと、
なにをしてあげられるか、かんがえた。

ぼくは、うたうたして、あやして
みた。いもうとは、なきやんでわらった。

おかあさんも、えがおで

「あじがうい」と言いった。

いいももうれしかった。



おてしだいのてんさい

わたしは、夏休みなつやすみに、たくさんのお手てつ
 だいをしました。しよつきをきれいになら
 べたら「しよつきならべのてんてんさい」「あふる
 をきれいにあらったら」「あふるあらいの天てん
 さい」と言いって、たくさん、ほめてもらい
 ました。ほめられると、うれしい気きもちに
 なるので、わたしも「おかあさんは、しん
 ぶんはいたつの天てんさい」と言いったらうれし
 そうに「あしたもがんばるよ」と言いいました。
 ほめる人ひとも、ほめられる
 人ひとも、あたたかい気きもちに
 なるので、わたしも、ほめ
 る天てんさいになりたいです。

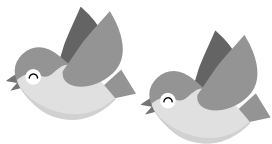


すずめのなかま

わたしががっこうに行くときに、いちわのすずめがどうるにいました。ちかくをくるまがとおってもうごけなくてたすけてあげようと思いました。そうしたらなかまのすずめが3わ、じゅんばんにうごけないすずめのうえにきていっしょうけんめいもちあげようとしていました。おもくてけっきょくもちあげられなかったけど、わたしはそれを見て、すずめのなかまはすばらしいとおもいました。

にんげんもそんなやさしさをみならわないといけないとおもいます。

そのうごけないすずめは、おもだちのおとうさんがたすけてあげました。



ちっちゃい子の素敵な姿

僕の弟は、今3才で、幼稚園にかよっています。ある日、お母さんと一しょに幼稚園におかえに行ったときに弟がいないました。

お母さんが、ないているわけをきいていたときに、2才の男の子が近づいてきました。その子はまだお話がじょうずではありません。

ないている理由を話してきてくれたのかと見ていたら、弟の頭をやさしくなでてくれました。こんな小さな子でも、人の気持ちがかかるなんて、本当にすごいなと思いました。

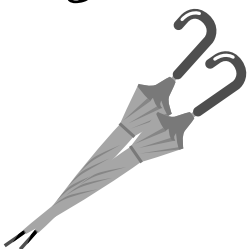


ばあちゃんとかわ

わたしは、ばあちゃんがびょういんに行
 っている時に、一人家ひとりいえでるすばんしていま
 した。

すると、外そとを見たら雨あめがどしゃぶりにふ
 っていました。ばあちゃんは、かさをもっ
 て行いかなかったなので、わたしが、びょうい
 んまでもつていくことにしました。と中うち
 よつと道みちにまよいそうでしたが、びょうい
 んにたどりつきました。その時のばあちゃ
 んの顔かおがうれしそうで、わたしも、うれし
 くなりました。

人にひとしんせつがすぬと、
 わたしもあわせになれた
 んだなあと思おもいました。



小学生

妹のおむつがえを地いきの

おばちゃんが手つだってくれた

一年くらい前に、メールで母さんが妹のおむつがえをしていたときのことです。妹がいやがってなきはじめてしまいました。おかさんは困ってしまいました。そのとき、近くにいた地いきのおばちゃんが、タオルを妹の上で、ひらひらさせて、妹を楽にさせてくれました。そのおばちゃんは、妹のおむつがえが終わって、お母さんがたづけが終わるまで遊んでいってくれました。とっても親切な方だなあと思ったので、困っている人をたすけてあげたいです。

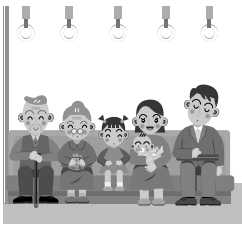


せきのゆづりごころ

わたしは、去年きょねんの夏休みなつやすみに、タイに行き
ました。そして、電車でんしゃにのりました。電車でんしゃ
の中なかは、人ひとでいっぱいでした。なので、わ
たしは立たっていました。すると、すわって
いた人ひとがせきをゆづってくれました。とて
もうれしかったです。

帰かえるときに、わたしがすわっているところ、
おばあさんおばあさんが入はいってきました。わたしはせ
きをゆづってあげました。そしたら、うれ
しそうな顔かおで、すわりました。
わたしもうれしくなって、
え顔がおになりました。

せきをゆづるといいなと思おもいました。

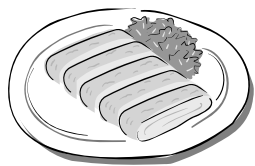


え顔はいいですね

わたしが、お母さんのお手伝いをした
とき、野菜を切ったらお母さんが、「上手
になったね」とほめてくれました。そして、
みんなが食べたら「おいしい」と言ってく
れました。

そのしゅんかん、わたしはうれしくなり
ました。わたしの心は、いつもよりもぽか
ぽかしていました。

今日はたまご焼きを作りました。お母
さんが「上手ね」と言ってくれ
ました。見たら、たまご焼きは
もつのにっさいませんでした。



でもえ顔はまだのっさいました。

おねえちゃんのランドセル

ほくのお姉ちゃんは、今年、小学校を卒業して中学生になりました。

今まで使っていたランドセルは使わなくなっただので、外国のアフガニスタンへ送ることにしました。

アフガニスタンの子どもたちは、日本のように学校に通うことが当たり前ではないので、ランドセルを受け取ることで子どもたちの人生に大きなチャンスをあたえられそうです。

ほくたちのランドセルが多くの子どもたちの役にたてばいいな。ほくも卒業したら、ランドセルを送ります。



小学生

見習いたいなく

私は週に1回習字教室に行っています。

生徒がたくさんいるので、げんかにはた
くさんのくつがあります。私が教室に行っ
た時は、あちらこちらにくつがちらばって
いますが、帰る時には、きれいに並んでい
ます。

ある時、友達のお母さんがくつをそろえ
ているを見ました。それを見て、自分の
くつはそろえた事があるけれど、他の人の
くつはそろえた事がないから、
見習おうと思いました。



使つかった物ものには、必かならず「お礼れい」を

みなさんはえん筆えんぴつなどが小ちいさくなつて、
 捨すてる時ときどうじますか。僕ぼくの家いえでは「ゴミ箱ごみばこ
 に捨すてる時とき「あありがとう」といいます。
 ななぜかなというと、使つかった物ものを「ポイッ」と
 捨すてるとただの「ゴミ」にななつたよようなな気きが
 するけど、「ああじがとう」「というとい次つぎのあたらし
 しい旅たびに出でれるよようなな気きがするかららです。
 そそのほかかにも、いいらなくなつたあもちやや
 小ちいさなくななつたくつなどを捨すてる時にも必かならず
 お礼れいをいうつてからら捨すてます。
 物ものをだいじにして、気き持もちよくお別わかれした
 いいです。



小学生

私達の通学路には

私達の通学路には、信号のある横断歩道があります。そして、よく近所のおばあさんが立ってくださっています。私達小学生が安全に登校できるように見守ってくださっているのです。

私が小学生になるずっと前から、黄色の旗を持って立ってくださっています。

昔は毎朝でしたが、最近は元気な時だけです。だから、おばあさんの姿があることがうれしいです。これからもできるだけたくさん、おばあさんに「おはよう」を言わせてほしい。

交通安全

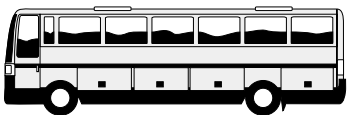
動物園の帰り道

ぼくとお母さんと二人の弟で、動物園の
 帰り道のことです。歩きつかれて弟は、バ
 スの中でねてしまいました。

すると、後ろにいたおじさんが、たおれ
 ないように弟をだいていてくれました。

そして、バスをおりる時、お母さんは、
 一番下の弟をだいていたので、おじさんが
 弟をだきかかえて、いっしょにおりてくれ
 ました。

お母さんとぼくは、目が合いあた
 がいニコッとなりました。さりげない
 ちやせいがとてもうれしかったです。

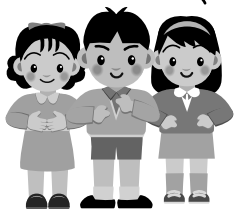


あいさつの輪

「5年2部のみなさん、おはようございます」。朝、ぼくは、クラスのみんなにあいさつをした。だけど、みんなはしゃべっていて、数人の返事しかなかった。

そんな時、一人の子が大きな声で、「Oさんおはようございます。」とあいさつを返してくれて、その子に続き、もう一人の子も、あの子も…とたくさんの子がぼくにあいさつを大きな声で返してくれた。

ぼくは、あいさつの輪は、広がっていくんだなと感じたし、あいさつをしなうと理した。



おばあちゃんのおまほうの言葉

私には、大好きなおばあちゃんがいいます。

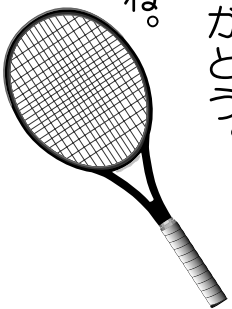
おばあちゃんはおじいちゃんも「〇〇ちゃんからパ
 ワーをもらおう」と言っておく手をしてくれ
 ます。

この前テニスの試合があることを伝え
 たら、「おばあちゃんがパワーをあげる」
 と応援してくれました。

テニスの試合の時にはおばあちゃんの
 やさしい言葉のおかげで最後まであきら
 めずがんばることができました。

おばあちゃん、あじがとう。

これからもしっかり生きてね。



小学生

いんとちは==

私の家の前で、畑があります。その畑ではおじいさんやおばあさんが野菜を作っています。その畑の方々は、いつもあいさつをしてくれます。

「おかえり」「暑いね」「いっこぶっせい」「小さなころから、声をかけていただきます。」

小さい時は、なんであいさつしてくれるんだらう。と思っていました。でも、今は、こんなに声をかけてくれる人がいるんだな。うれしいなと思います。

だから私は大きな声でいいです。

「いんとちは==」

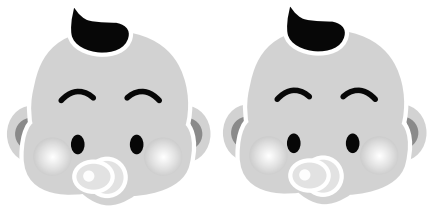


ぼくの家^{いえ}に双子^{ふたご}がやってきました

ぼくが幼稚園^{えん}の時^{とき}、お母^{かあ}さんが双子^{ふたご}の赤^{あか}ちゃんを産^うみました。一度^{いちど}に二人^{ふたり}の赤^{あか}ちゃんが産^うまれたのでびっくりしました。

赤^{あか}ちゃんが泣^なくとお母^{かあ}さんはミルクを作り^{つく}、二人^{ふたり}の間^{あいだ}に座^{すわ}ってあげていました。それを見^みたぼくは、お手伝^{てつだ}いが出来^{でき}ないかなと思^{おも}って「ぼくがぼけゆびんを持ってあげるとよ。」と、お母^{かあ}さんがうれしそうに笑^{わら}いました。

ぼくがミルクをあげて
いると、お母^{かあ}さんだけじ
やなく赤^{あか}ちゃんも喜^{よろこ}んで
いる気が^きしました。



ほんの一言

私が冬に、ごみ拾いをしていた時のこと
 です。犬の散歩ついでにごみ拾いをしてい
 ました。

一度、私の飼っている犬が、ほねのよう
 なごみを食べてしまったことがあるので、
 出来る日は、やるようにしていました。

その日は、妹とやっていたのでいつもよ
 りきれいになりました。すると、「あなた
 達のごみ拾いをしてくれるから、町がきれ
 いになるよ。ありがとうね。」と
 声をかけてもらいました。
 外は寒くても、心がポカポカ
 してきました。



ちやうと駅員さん

ゴールデンウィークのことです。ぼくは一人ひとりで埼玉さいたまのいとこの家いえに遊びあそびに行くことになつていました。

そこで、駅えきに切符きっぷを買いかいに行きいました。すると駅員えきいんさんは一人ひとりで行くことについて、「すごいですね。」「や」「では富士山ふじさんの見みえる席せきをとっておきますね」「ごまかったことがあったら、すぐ車くるまに乗りのりかえなと言いって下さいね。」「ととても気きをつかってくださいました。

ぼくはちよつともじわじわなりました。そして、きれいな富士山ふじさんを見みれました。



交差点のでき事

お母さんと車に乗っているとき、救急車が交差点にきました。青信号の車もみんな止まって救急車が通り過ぎるのを待ちました。

当たり前だと思っていたけど、ぼくが赤ちゃんのとき、体調が悪くなって救急車で運ばれたとき、平気で救急車の前を横切る高校生にお母さんは悲しかったです。

みんなが当たり前前に止まっていたけど、その様子にほっとしました。

救急車で運ばれていく人
に『元気になってほしい』
と思いました。



手紙

僕のお母さんは個人のお家にお弁当を届ける仕事をしています。お客様の一人が体調を崩してしまい、お届けを中止する事になりました。

お届け最後の日に、お客様から手紙をもらいました。『あなたの笑顔と優しさを支えに頑張って日々を過ごせました事を感謝しています。有難うございました。』と書いてありました。

お母さんは手紙を読んで、人の支えになった事を嬉しく思ったそうです。僕も人とのつながりを大切にしたいです。



本ほんだなはいつもきれい

私わたしのクラスの本ほんだなは、いつもきれいに
整せいとんされています。本ほんの整せいとん係かかりはいな
いになぜきれいなのだろうと想おもって見み
ていると、いつもきたないのに気きづいた人ひと
が整せいとんしていました。

わたしもたまに本ほんをそろえたりするけれど、
特別な時とくべなときべらいいしかやらない。

だけど、他ほかの子こは、特別とくべつじゃないときで
も進すすんで本ほんを整せいとんしているのを見みて、い
つでも気きが付ついたら整せいと
んぎもちよく生活せいかつでき
るよ、と、いわれる事ことをし
たんです。



妹の温かいざわつれ

僕がリビングへ来た時、お母さんがねて
 いました。毛布がかけられていなくて、じ
 ゆくすいしていたので、じゅんぐんすんすん、
 めいわくになるかなと思い、なんにもしませ
 ませんでした。

その時、妹がなにかを持ち、お母さんの
 方へと向っていききました。それは、お母さ
 んにブランケットをかけていたのです。

自分も相手の気持ちを考
 え、相手が嬉しくなる、そ
 のような行動をたくさんし
 たいです。



「お茶足りるかな…」

私はバスケットボールをしています。先

週試合がありました。最高気温38度暑い

中での2試合です。

「お茶が少なくなったら言いなさいよ。」

と、私はお母さんに言われていました。

2試合目が始まる前、私の水筒はいっぱい

いになっていました。でもいれてくれたの

はお母さんではありませんでした。

友達のお母さんがいれてくれた「温かい

よく冷えたお茶でした。



エレベーターで

ショッピングモールのエレベーターで、
赤ちゃんをだっこして、ベビーカーを押し、
荷物を持った人がエレベーターにのろう
としていました。

でもエレベーターの中は人がいっぱい
で車イスにのった人もいました。

車イスの人は、自分が下りる階ではな
かったけど、赤ちゃんをだっこしている人
エレベーターにのせるために、自分が一
度エレベーターから下りて

のせてあげました。

とてもやさしい人だ
と思いました。



家族のようなく近所さん

近所のおじさん、おばさん達です。毎日

のあいさつはもちろんです、下校時に「お帰り。

カバン置いてきたら、おやつ取りにおいで。

お母さんもまだ帰ってきてないやろ？」

一緒に食べよ。」など、家で一人になる私を

心配してくれます。

前の家のおばあちゃんも出てきてくれて

おしゃべりしながら時間を過ごします。

「何かあったらすぐにおいでよ。」と、み

んなが言ってくれます。

家族のように見守って

くれるすてきなぐ近所さ

ん達です。



最高の仲間^{なかま}に^{かこ}囲まれて

「一番^{ばん}ピッチャー^{ピッチャー}〇〇」と監督^{かんとく}からスタ
ーティングメンバー^{スターティングメンバー}を発表^{発表}され、試合^{しあひ}会場^{かいじやう}
に向^むかった。会場^{かいじやう}に着^つくと、地面^{じめん}をたたき
つけるような雨^{あめ}が降^ふってきたので、保護^{ほご}者^{しゃ}
の友達^{ともだち}が急^{いそ}いでテント^{テント}をたて始^{はじ}めた。

その時^{とき}、「〇〇君^{くん}の肩^{かた}を冷^ひやすな」「み
んなで〇〇君^{くん}を守^{まも}れ」と、自分^{じぶん}を犠^ぎ牲^{せい}にし
てまで、ぼくに雨^{あめ}があたらないようにみん
なで囲^{かこ}んで傘^{かみ}をさしてくれた。

なかなか優勝^{ゆうしょう}出来^きない

チーム^{チム}だけど、じつじやう

も温^{ぬか}かく最高^{さいこう}のチム^{チム}だ

と自^じ慢^{まん}で^{きん}。



修学旅行の楽しさをあすそわけ

「先生これどうぞ」「これ何?」「修学旅行のお土産を買ってきました。ハッ橋です。」
ぼくの習字の先生は、戦争中で楽しみにしていた修学旅行に行けなかったそうです。「あじがじい」と言っても、とても喜んでもくれませんでした。

今の時代は、当たり前に行きぬいでも、昔は、がまんしたり、できなかつた事も多いんだらうと思います。

ぼくの楽しかった修学旅行のあすそわけができたようですね。よかったです。ハッ橋はいつでもあじがじいなんです。



仲なおじの方法

5才年下の妹とケンカをした。わたしは悪くないので、妹からあやまってくれるのをまいった。

一日、二日、三日、四日…ぜんぜんあやまってくれない。わたしはちよっとさみしくなってきた。

そして、五日目。わたしからあやまった。妹はびっくりしてわらわらしてくれた。『妹は一番』『そう思った。』

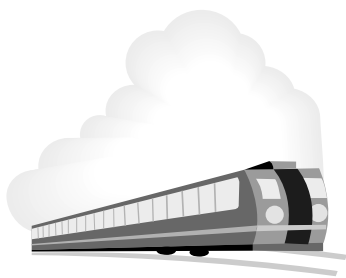


電車の中での出来事

6月に、用事で電車に乗ることがありました。日曜日だったので、そこそこ人も多く僕は座れるか心配でした。電車が来て乗り込むと、なんとか通路をはさんで母と近くに、座ることが出来ました。

すると、ぼくのとなりに座っていた女の人が、母と座席を代わってくれ、母ととなり座る事が出来ました。

そのままでも、座れただけでしたけど、ぜひ、そのちやうど楽しい電車の旅になりました。



あたたかい心

私がバスに乗っていたとき、車椅子にの
 った方が乗車しました。その方が降りると
 き、女性のバスの運転手さんがサポートし
 ていました。さらに歩道まで段差があるの
 で歩道まで手伝っていました。

でも、女性一人なのでとても大変そうで
 した。すると、全く関りのない乗客の男性
 がバスから降りて運転手さんと一緒にサ
 ポートしていました。

そのとき、私は将来この男性のように困
 っている人を進んで
 助けられる人になり
 たいと思いました。



魔法の言葉「ありがとう」

僕が一番好きな言葉は「ありがとう」です。
最後の中体連、県大会優勝を目標に掲げて
戦ったが、あと一歩及ばず僕は引退しま
した。

最後のミーティングで、先生から「親に
ありがとうって言いよ」と言われました。
僕は部活動に励んでいた時、「ありがとう」
を忘れていました。

家族に「ありがとう」と伝えるのは何だ
か恥ずかしいです。でも伝えることを欠か
してはいけません。「ありがとう」を言う
ことは美しいことだと思います。



おばあちゃん

突然犬を飼うことになりました。とても可愛い犬を入院中の93歳のおばあちゃんに見せたくて、写真を持って行ったら、おばあちゃんは「可愛い、この犬に会いたい！」と笑顔になりました。

おばあちゃんはもう幸せだから、早く天国に行きたいと言っていたけれど、犬に会いたくて、リハビリを頑張り、数日後には歩けるようになってすぐ退院できるようになりました。

我が家に来てくれた犬のおかげでおばあちゃんが元気になりました。



中学生

元気が一番

私がつらいときは、一人で近所を歩きます。そんな時、後ろから近所のおばあちゃんがいいました。「だめだめ。元気が一番だよ」「そういわれたとき私は気持ちが悪くなるようになった気がしました。

今は、同じような子がいたらその子に同じように元気を outsasete あげられます。ありがとうございます。おばあちゃん。私は今でも元気です。おばあちゃんのおかげだよ。

私、おばあちゃんよりもっとたくさんの人を元気にするよ。だから見ていてね。

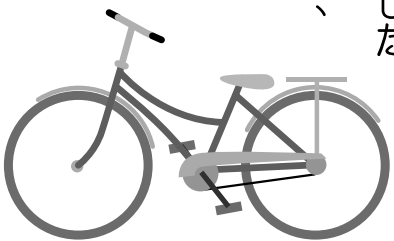


自転車で登校している時

私が自転車通学になれていなかった頃、
登校していた時の出来事です。対向車が来
たので私は堤防のはしの所に寄って待ち
ました。対向車とすれちがい、発進させよ
うとすると、バランスをくずしてたおれて
しまいました。

すると、堤防下から「大丈夫？」「けが
してない？」など心配してくれる小学生や
その保護者の声が聞こえました。

少しはずかしかったけど、
うれしくなりました。



家族の協力プレー

夏休みに入る少し前、お母さんが入院しました。今まで当たり前のように家の事が回っていたけれど、ピタリと回らなくなりました。

お母さんが入院している間、おばあちゃんはおかずを作り、お兄ちゃんはお飯を炊いて、私は洗濯物を取り込み畳む、お父さんは洗濯物を干して仕事へ行くなど、家族全員で協力しました。お母さんは毎日1人ですごく大変だと感じました。

今では無事に家に戻ってきてくれたお母さんには、感謝しています。



勇気を出して

「大丈夫…?」ちよつと苦手な子だったけれど、ケガをしていたから声をかけてみた。

最初は無視したら嫌われるかな、とか、なんか言われるかな、とか、自分のことしか考えてなかった。でも、心の奥のどこかに本当に心配だと思っている自分もいる、とふと思った。

その子は「大丈夫、ありがとう」って言うてくれて、ギクシヤクしていた空気感もやわらかくなった。

だから、もっと勇気を出して自信をもつて、声をかけてみようかな。



ごみ集め

私は、その日陸上の大会に参加していた。

その日はとても暑く40度近くまで気温が

上昇し、たくさんさんの人の水分がなくなり、

自動販売機の飲み物が売れた。

たくさん売れた分ごみが多くなりごみ

箱にはあふれたペットボトルが散乱して

いた。

すると、そこへごみ袋を持った男の人が

ごみ集めを始めた。「ごみあずかります」

と言って私の分も回収

してくれた。男性の親

切な心にとっても感動し

た。

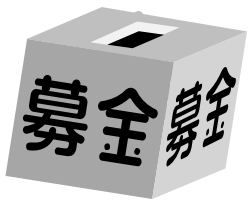


男の子とチョコレート

私が母とスーパーでレジに並んでいるとき、前まえに小学生しょうがくせいくらいくらいの男の子おにい こがいました。男の子おにい この手てには、チョコレート2つとそれを買かったためのお金かね。何かなにか考かんがえているようだったので見ていたら、チョコレートを走はしって棚たなにもどしに行いき、またレジの列れつの後ろうしろに並ならびました。

私わたしたちのレジレジが終おわり、男の子おにい こに目めを向むけると、レジ横レジ横にあっあった募金箱ほしきんばこに募金ほしきんしていました。

心こころがほっぴりしました。



ごみ収集車とめぐるごみ

みなさんは、ごみ収集車にかざられているぬいぐるみを見たことがありませんか。私はそんな車をみたとき、なぜ新しいものではなく、古いものがかかっているのかわかりませんでした。その裏側には運転手さんたちの心温まる行動がありました。子どもたちにもぐいぐるみがしぼむのをいっしょに見せたくないからだと聞いています。

私はこのことからすべての物の命や思いがあることを改めて感じました。



母からのありがとう

私の母は仕事の帰りが遅く、いつも大変そうにしています。だから私が、洗たく物をたたんだり、夜ご飯を作ったりして少しでも母に言ってもいいようにしました。母が帰ってくる時、「これ一人でやったの?」「とおどろいていました。そして、「ありがとう」と言って、私を抱きしめてくれました。私は涙がこぼれました。人の役に立つことはこんなに嬉しいことなのかと感じました。



日常

私の母は、生まれつき心臓が悪いので、一緒に走ったり、体を動かしたりするのが難しいです。幼い頃はそれに対して不満ばかりでした。

しかし、成長していくにつれて理解できるようになりました。母は運動ができないだけで、一緒に出かけたり、話したりできます。また、家族のために働いてくれます。

今では、母と過ごす何げない日々が私の宝物です。これからも、この何げない日々が過ぎせるとういなおもいます。



感謝しきれない人

小5しょうごのとき、通学路つうがくろの交差点こうさつてんを渡わたって
 いたとき、右折車うせつしゃが横断中おうだんちゆうの私わたしめがけて突つ
 込んできた。催眠術かいみんじゆにかかったように体からだが
 動うごかず突つっ込こんできた車を呆然ほうじぜんと見てい
 たら、後ろうしろから飛とばされ私わたしは助たすかった。だ
 けど助たすけてくれた学生がくせいは車くるまにはねられた。
 泣なきながら救急車きゆうきゆうしゃなどを呼よんでもらい、後あと
 から見舞みまいに行いってお礼れいを言いった。
 中学ちゅうがく1年ねんのとき親おやの都合ごうごで引ひっこした先さき
 の学校がっこうの先生せんせいはあの時ときの
 学生がくせいだった。私わたしは3年ねんかん間かん、
 面めんぶつぶつを見みてもらった。



誰かの役に

私は、低学年の時たまたま見ていたテレビで病気で髪を無くしてしまった人達に髪を寄付するヘアドネーションというボランティアを見て、私も誰かの役に立ちたいと思い必要な髪32cmを伸ばし続けました。

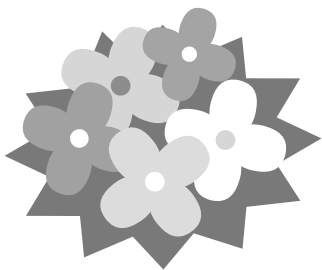
そして、6年生の時ヘアドネーションをしました。その髪を送った何日か後に感謝状がとどきました。その時、私は、自分が誰かの役に立てたという喜びを改めて感じました。そして、またヘアドネーションを、誰かの役に立ちたいです。



見えないところにも

私は部活から自転車で帰っていた。その
 ときに前を歩く女性が「あっと危ない」と
 何かをよけた。それは道の端に咲いていた
 小さな花だった。その女性は、その小さな
 花を踏まないようによけたのだ。

普段私は下を向いて歩かない。だから気
 づかないうちに花や草を踏んでしまっ
 いた。ほんの少し、普段意識していない所
 に目を向けられたら、気づくこともたくさ
 んあるなと思った。
 私はその女性をすて
 きだと思った。



障がい者の方とふれ合って

学校に障がいを持つYさんが来るとい
うことで1年2組みんなで遊びを考えて
いました。その時にYさんと自分達も一緒
に楽しめて笑顔になれる遊びを一生懸命
クラスのみんなが班で協力し合って決
ていました。

そして、Yさんが来た時に、クラスの
みんなも笑っていたし、Yさんは体を動か
して、喜んでいてくれたので一生懸命遊
びを考えてよかったなと
私は思いました。



ある朝の電車で

私は、電車で学校へ向かっていた時のこと。最寄2〜3駅前で学生が乗ってきて混雑の為ドア付近に立っていました。「どうしよう」と声が聞こえ、見るどリュックのストラップがドアに挟まっていて、着いた時に反対側のドアが開いた為出られなくなっていました。近くの男性が「次の駅で降りるので預かって明日渡しますよ。」と言いました。

その子の焦りが少し和らぎ、結果車掌さんが助けて事なきを得ましたが、それはとても素晴らしい言葉でした。



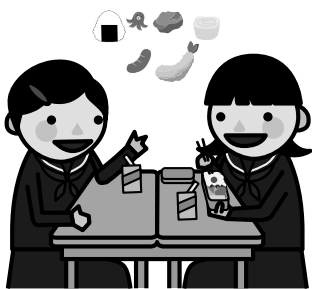
高校生

いろいろな味のお弁当

以前に、私はお弁当を忘れたことがあり
ました。その時、いつも周りで食べ
友達に「これあげる。」「私もあげる。」「と
みんなが自分のお弁当のおかずを私に
くれました。

いつもと違ういろいろな味のお弁当を食
べた時、心からおいしいと感じました。そ
れはきっとみんなの心のやさしさも詰ま
っていたからだだと思います。

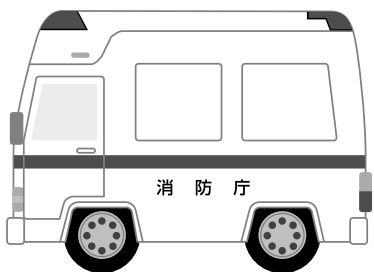
自分の周りで困っている
人がいたら、私も同じ
ように助けてあげたいと
思いました。



スーパー

スーパーで、買い物をしていると、レジに並んでいたおばあちゃんが急に倒れ、大さわぎになりました。それを見た周りの人は、救急車を呼び、たまたま看護師が近くいたので、おばあちゃんは助かりました。

僕は、何もできずに見ているだけでした。急な事でも、とっさに対応できる人はカッコイイと思いました。



高校生

プラットホームにて

以前私は、駅のプラットホームで困っている外国人を見かけました。話しかけようと思ったのですが、自分の英語に自信が無く、通じないかもしれないという不安にられました。

すると近くにいた友達が「話してみようよ!」と言ったので勇気を出して「こんにちは。何かお困りでしょうか」と話しかけたら案外上手く行きました。その時の笑顔は忘れられません。これからもいろんなことに挑戦していきたいです。またあの笑顔が見たいです。



ベストタイムでのゴール

昔から運動が苦手だった私は、持久走で必ず最下位だった。共に走った仲間もゴールしているのに、私だけいつも離れたところにあった。

皆が私の事を馬鹿にしているだろうな、と思っていった。視界が涙であふれそうになった時、聞こえてきたのは、親友の「頑張れ！」と励ます声だった。気づけばそれはその場の全員に広がっていった。私は一人で頑張っていた訳じゃない。

校庭に響く声援に背を押され、私はベストタイムでゴールできた。



「輪車のおばあちゃん」

ある日、学校から家に帰る途中で「輪車を押しているおばあちゃんを見かけました。重たそうに、運んでいる姿を見た僕は、自然と身体が動いてしまい咄嗟に「持ちましたよ、ようか」と言ってしまった。

おばあちゃんは驚いた顔をしましたが、すぐに笑顔に向けて「ありがとう。」と書いてくださったの野菜をくれました。

家に帰り、母にこの出来事を話したら、

母はその野菜で調理を

始め、一人で食べました。

皆が笑顔になって心

温まる出来事でした。



高校生

外国の方との交流

中学校の東京研修で班別行動をしていた時、駅で韓国の女性2人に目的地までの電車の乗り方を尋ねられました。片言で「どこに行くのですか」と話してみよう、私達と行く所が同じだということがわかりました。

そこで「一緒に行きましょう」と言い、韓国の女性2人と1時間半ほど共に行動し、仲良くなれました。私達も東京は初めてで、街を案内するのは戸惑ったのですが、日本が初めての外国の方に笑顔で過ごしてもらえて嬉しかったです。



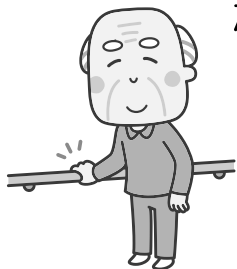
高校生

自分なりの助け方で

登校時、駅を歩いていたら目が良く見えていないと思われるおじいさんがいました。そのおじいさんは、手すりを掴もつとして何度も空を掴んでいました。

すると、先程おじいさんの傍を通り過ぎた男子高校生が戻って来、見守っていました。きっと「何かあってはいけない。」と思ったのだと思います。そして、おじいさが手すりを掴むのを見届けてから戻っていきましました。

自分なりに助ける姿を見てなんだか心が温かくなりました。



自慢の祖母

先日、私の祖母が新聞の記事にのりま
 した。仕事終わりに体調が悪そうな人を見つ
 け警察と救急車が来るまで、その人に付き
 添い、賞状を頂いたという内容でした。

祖母は、その人が不安にならない声をか
 け続けたそうです。自分がいざ祖母のよう
 な立場になると、祖母のように落ち着いて
 声をかけられるかわかりません。だからど
 んな人にも優しく寄り添うことができる
 祖母は尊敬できるし、
 自慢したいです。
 祖母のようになりた
 いです。



高校生

社会の常識を考えることの大切さ

或る日、私は友人と電車に乗って名古屋へ出かけた。行きの電車に乗る際、人が大勢降りて来た。私達は、全員が降車したので確認してから乗車した。

これは、社会の常識だと私は考えている。ところが、帰りの電車から降りる時、私が降りる前に乗車してきた人がいた。その自己中心的な行動に私は、腹立たしいと思っただ。その時後ろの人が、「ルールは守ってください。」と言った。ダメな事はダメと言えるその人の姿に、私は感動した。



素敵なキャストさん

私は3歳の頃、東京デイズニーランドで迷子になったことがあります。周りは見ず知らずの大人ばかりで自分から助けを求めることが出来ず本当に困っていました。するとキャストの人が声をかけてくれて、親が迎えにきてくれるまでずっと手を握り続けてくれました。迷子で困っていた私を優しく落ち着かせてくれたお陰で、私はそのあとも楽しい1日を過ごすことができました。

そんな優しく笑顔の素敵なキャストさんは私の憧れです。



高校生

大切な仲間と

今年の春休みの或る日、塾のみんなで行へ行ったときのことです。ある一人の子が、家の都合で旅行に行けなくなってしまうしました。旅行当日、みんなで風景などの写真を撮っていると、誰が言い出したわけでもなく、みんな自然とその子に写真を送っていました。高校受験という人生の山を共に乗り越えた仲間と思い出を共有したい。そんな思いがみんなからひしひしと感じられました。

このように、人を思いやれる仲間に会えて幸せです。



電車の中で小さな喜び

友達3人で電車で遊びに行った時のことです。私たちが座っていると泣いた赤ちゃんを抱えた女性が乗ってきました。私達は急いで席を譲りました。そこまでは良かったのですが、赤ちゃんは一向に泣き止まず、女性も周りの人にずっと謝っていました。

そこで近くにいたおじさんが、「元気な赤ちゃんだね、可愛いね」と言っています。その人のおかげで一気に電車の雰囲気は明るくなりました。素敵な人だと思いました。



高校生

疲れを無くしてくれる優しい

高校入ってすぐの頃、帰りのバスでのご
です。私はとても疲れていたので、バス
停につくまで眠ってしまいました。バス停
に着いたときに、バスの運転手が「着いた
よ。いつもお疲れ様」と声を掛けて起し
てくれました。

ただ、起こしてくれるだけではなく、ひ
とこと声を掛けてくれる優しい人がいて
うれしかったです。そのひとつで明日も
頑張ろうと思つことが
できました。



駅員さんの優しめ

私は、毎日養老線の電車を使って学校に行っている。

以前、部活が長引き駅まで二百メートルのところまで出発まであと一分という状態だった。全速力で走ったのだが、電車が到着してしまった。それでも間に合わせようと走っていると、運転手の方が「あと少し頑張れ」と声をかけて待って下さった。時間厳守の中でほんの少し待って下さった運転手の方の優しさに心を打たれた。電車の中でも「お疲れ様」と声をかけて下さり心が温かくなった。



子猫と女の子

以前、下校途中に近所の小学2年生の子
が駐車場で座っていました。私はお腹が痛
いのかなと思い、女の子に話しかけました。

すると、「あこの猫ちゃんが車にひか
れないように私が守っているの!」と答え
ました。私は「どうしても守りたいの」と
聞きました。

すると「猫ちゃんは一匹だから、私が
一緒にいる!」と返ってきました。女の子
の何に対しても思いやりを持ち
気持ちに心が温かくなりました。



お弁当箱

息子が晴れて高校に合格し、お弁当箱を一緒に選びに行った時のこと。種類も多々、大きき・デザイン等様々で迷う中、私が選んだのは、ご飯とおかずが1段ずつに分かれた今風の2段式のお弁当箱。息子に「これでどう?」と尋ねたところ、「お母さん忙しいやろ。おかずが少ない時はこうやってご飯を多くすればいいで、こっちでいいわ」と、間仕切りを動かしながら説明する息子。それは、間仕切りのついた昔ながらの平べったい長方形のお弁当箱でした。毎日忙しく働く私を気遣ってくれた息子の優しい言葉に、胸が熱くなりました。



子供の何気ない一言「感謝」

私の母は、病気と向き合いながら毎日過ごしています。子供にも「おばあちゃんは医者さんでも治せない病気が体の中にいるんだよ」と言っています。

そんなある日、6才の子供が「消しゴムにおばあちゃんの病気が消えるように魔法をかけられるといいな」と言いました。おばあちゃんの病気を消すことができようにと子供なりに思った事だと思いましたが、子供の何気ない一言「感謝」でもほっこりしました。



流しそうめん

先日、初めて流しそうめんというものを催した。半割りにした青竹を素麺が流れてくるだけであるが、これが工程を含めてなかなか楽しいものであった。息子達は、一等地を巡り争うが、自然と下の子が上流からの順となった。

子供なりに機会の公平さを見定めた結論である。最下流の筈に際限なく溜まる素麺の行末を案じつつ感心する。



あじがとう

休日の朝、親は平日に起きる時間よりも遅く起きました。起きてリビングへ行くと、

おもちゃで散らかっていた部屋がきれいに片付き、弟の着替えも済んでいました。

母が驚いていると、Kは「少しでも、お父さんとお母さんに休んでほしかったの。」と言ってくれました。Kなりに早起きして部屋の掃除と弟がへずらないように一緒に遊んでくれていました。

あじがとう。

その気持ち嬉しかったです。



平成30年度 ちよつといい話

平成30年12月発行

編集 岐阜県環境生活部 人権施策推進課

〒500-1857

岐阜県岐阜市藪田南2-1-1

TEL 〇五八-二七二八-二五〇（直通）

FAX 〇五八-二七八-二六一五



ちよつと
話



清流の国ぎふ

※この冊子は、法務省委託事業により作成されています。

岐阜県環境生活部 人権施策推進課